

行政相談委員の 尾座本健一さん 総務大臣表彰受章



10月22日、築上町担当の行政相談委員の尾座本健一さん（東高塚）が、永年、行政相談委員として尽力されたことに対し、平成25年10月、総務大臣表彰を受章され、新川町長を表彰訪問しました。

尾座本さんは、平成9年から本町担当の行政相談委員に委嘱されており、無報酬のボランティアとして住民から行政上の苦情や要望を受け付けられています。



町長室だより

築上町長 新川 久三

秋も晩秋の頃となり、山野の木々も色濃いい季節となりました。町民の皆様にはますますご清栄のことと存じます。

築上西高等学校創立 100年の記念行事

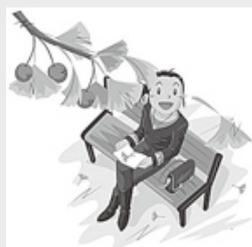
福岡県立築上西高等学校が創立100年を迎えました。同高の前身は築上郡立椎田実業女学校で、6・3・3の学校制度改革によつて築上西高等学校が誕生しました。築上郡立椎田実業女学校創立から100年を迎えるに伴い、11月9日に100周年の記念行事が築上西高等学校と同窓会の鶴陵会主催で行われます。記念講演として、無敵の女子アマチュアレスリングの吉田沙保里さんが講演をすることになっています。オリンピック金メダリスト吉田さんが我が町に来てい

ただくということ、町民の皆様への講演をお願いしたところ、快く承諾をいただき、同日午後3時からコマーシャルで無料公演を開催します。町民の皆様、講演会へ是非お越しください。

高等学校の第一次統合が終わり、第2次の話がささやかれているとの情報がありますが、町をあげて築上西高の存続を運動し、同高の更なる発展を祈念します。

豊前広域環境施設組合 合離脱の方向へ

現在、築上町の汲み取りのし尿処理は、椎田地区分については液肥製造で、肥料化して循環型農業を展開しています。農家の方からは、肥料代の低減と農産物のブランド化で喜ばれています。また、市場・消費者からも付加価値の高い農産物と期待されています。



一方、築城地区分は合併前から豊前広域環境施設組合（構成団体：豊前市、みやこ町、築上町）に加入して現在に至っています。同組合の施設延命化計画の話が持ち上がっていますが、この中で私は「施設を更新する新たな投資は遠慮をさせていただき、液肥化し資源の有効利用をする、循環型農業を推進していきたい。」と、組合の方へ暗に脱退の方向を先の理事会で発言させていただきました。脱退の理由は、し尿処理コストの低減です。現在、築城地区分の処理費用は、平成24年実績で年間6千5百ト円で約5千2百万円です。一方、椎田地区分は年間9千ト円で液肥化と農地への肥料散布まで含めて年間約4千5百万円程度です。この様に低コストで環境行政と農業振興を行うことができるのです。築城地区分

大相撲九州場所始まる

11月10日から大相撲九州場所が始まります。本町出身の松ヶ根部屋（現松鳳山）の松鳳山関は小結に返り咲きました。郷里の場所でもあり、大いに活躍が期待されます。町民の皆様におかれましては精一杯の応援をよろしくお願いたします。

町民の皆様には向寒の季節になります。ご自愛をお願いいたします。筆を置きます。

